

「拠点機能のあり方」（案）第4章までの前回会合における意見への主な対応状況について

該当箇所		前回会合における意見	対応
表紙		ロゴマークは世界遺産のものの方が良い （「北の縄文ロゴマーク」は小さく）	・表紙に4道県の「縄文遺跡群ロゴマーク」を掲載し、「北の縄文ロゴマーク」は裏表紙に掲載 （キャッチフレーズを削除し、奥付に北の縄文ロゴの趣旨を記載） →4道県ロゴマークをページ中央に配置
目次		「策定」や「拠点機能のあり方」を親しみやすい言葉にできないか。	・「策定の趣旨」は「拠点機能のあり方の趣旨」へ修正 ・「拠点機能のあり方」はそのままとします。
P 1	1 策定の趣旨	「専門的見地からの意見を取りまとめ、道としての考え方を整理したもの」とあるが、これでは、取りまとめたことと、整理したことの過程がわかりづらいため、「専門的見地からの意見を取りまとめ、それをもとに道としての考え方を示したもの」とした方が良い。	ご意見を踏まえ、「専門的見地からの意見を取りまとめ、それをもとに道の考え方として策定したもの」に修正
P 1	2 「拠点機能のあり方」の位置付け	北海道総合計画等は「」を付けた方が良い	計画、法律等は『』を付ける。
P 2		道内構成資産と「北海道の縄文」の関連性を明記した方が良い。	図2として追加
P 3		図3の修正	「地域文化圏と縄文文化」に修正
P 6		図5を交通網がわかりやすい図に差し替えた方が良い。	図6として差し替え
P13~		「手法の一例」の文体を統一する方が良い。	体言止めから通常の文体に変更する。
全体		注釈の記載、用語解説について	記載可能な文言は本文に注釈を付す。用語集は別冊とする。
全体		遺跡から出た遺物の写真等の掲載	全体のバランスをみて掲載、アブシンベル神殿の写真追加
全体		道庁内調整に伴う文言調整	語順等の修正、平易な文言への修正、文章の簡素化等